

～日本ステージの製作現場から～

今回はF R P加工作業を担当する製作部の、熨斗さん（大阪製作部）と、鈴木さん（東京製作部）にお話を伺いました。

●F R Pとはどんなものですか？

Fiber Reinforced Plastics と言い、ガラス繊維の入った強化プラスチックです。発砲スチロールの原型から型を採り造形する場合と、そのまま上に塗りこんでF R P加工を施して造形する場合もあります。



●造形物などをF R Pで製作する時に気をつけている事がありますか？

F R P加工する為に使用する材料などに可燃性のものや、混ぜ合わせると危険なものもあるので、取り扱いにはとても注意し気をつけています。そして使用している材料（有機溶剤）やガラス繊維等は人体によくないものなのでマスクをし、F R Pの粉塵が舞わないように作業場は常に整理、整頓、清掃をきちんと行っています。また、型から外したF R P造形物はバリ（型からはみ出ている端の部分）の繊維が固くなり、のこぎりの刃のような状態になるので、エアソーでその部分をカットし、取り扱う時は怪我をしないように手袋をしています。通常だと、サンダーを使用するところですが、エアソーを使用することで、有害な粉塵が舞いにくくなります。それから作業する際は時間を常に気にしています。硬化してくる為、時間を置く事ができないので、電話にも出られないときがあります。



●F R Pの作業で大変なところはどこですか？

原型の発砲スチロールが溶けないように薬剤を塗るなど、とにかく作業工程がとても多いことです。製作日数が限られているので、冬など寒い時期だと硬化に時間がかかるので、作業工程が読みにくいところが大変です。

●造形物の安全面ではどのようにされていますか？

発砲スチロール製の造形物は熱に弱いので、照明等の熱で溶けたり発火したりしてしまう可能性があります。その危険を回避するためには、ウレタンゴム（ビルの屋上などに使われている防水材）の吹き付けやF R Pの塗りこみをすると、防災・防水になり、さらに造形物の強度も高くなり壊れにくくなります。



HEALTH TOPICS

今年も、インフルエンザが流行する時期に入ってきました。
毎年、1月から2月にかけて感染者が増加しています。

Q. どんな特徴があるの？

A. 季節性インフルエンザには、新型として09年に流行したA型(H1N1)、A香港型、B型の3種類があります。今季これまでに検出されているウイルスのほとんどはA香港型です。

Q. ワクチンは有効なの？

A. ワクチンを接種したからといって絶対感染しないというわけではありません。ワクチンは感染を完全に予防するものではなく、かかった時に重症化を防ぐためのものです。効き方も個人差があります。

Q. ワクチン以外に予防する方法はあるの？

A. インフルエンザは感染している人のせきやくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。予防のためにうがいや手洗いのほか、マスクの着用などを心掛け、人が多く集まる場所は特に注意することが必要です。また、適度な湿度を保つことも大切です。冬は乾燥した日が続きますが、乾燥するとどの粘膜の防御機能が低下し、感染しやすくなります。室内では加湿器などで湿度を保つことがおすすめです。